

新型コロナウイルス感染症対策のため、当分の間『岐大通』の配布方法はこれまでと異なります。ご理解のほど、よろしくお願いします。

2020J3 ■順位表 ■第12節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績（岐阜から見て）
（注：*印は消化試合が1つ、#印は2つ少ない）

* 1	秋田	29p	+16	19	3
2	熊本	26p	+11	24	13 HO
3	鳥取	24p	+8	18	10 AO
4	藤枝	20p	+3	23	20 A●
5	長野	19p	+7	20	13
6	今治	19p	+3	12	9 HA
* 7	富山	18p	+9	21	12
8	相模原	18p	-3	13	16 A●
9	鹿児島	17p	+2	20	18 AO
#10	岐阜	15p	+3	15	12 --- ---
11	沼津	13p	-6	11	17
* 12	福島	12p	-2	14	16
* 13	八戸	12p	-4	13	17
14	G阪23	12p	-6	17	23 HO
15	YS横浜	11p	-7	18	25
16	岩手	11p	-13	12	25 HA
17	讃岐	7p	-9	11	20 HA
18	C阪23	6p	-12	11	23 A●

※勝点、得失点差が同じ時は同順位とし、リーグ戦終了時に直接対決結果で決定（H&A実施完了時のみ）

次回HomeGame

第16節 vs.長野パルセイロ

9/19(土) 19:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

大酒場 **ホームラン**名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

today's guest : Y.S.C.C.横浜

2019 J3 12勝 3分19敗 勝ち点39:13位

直近の対決と結果

初顔合わせ

ここ3試合の公式戦の結果

	FC岐阜	Y.S.C.C.横浜
	2020/08/15 J3-10節@ギオンス 相模原 3-1 岐阜	2020/08/30 J3-12節@ピカスタ 讃岐 1-1 YS横浜
	2020/08/08 J3-09節@長良川 岐阜 1-1 岩手	2020/08/23 J3-11節@ニッパツ YS横浜 1-1 鳥取
	2020/08/02 J3-08節@藤枝サ 藤枝 3-1 岐阜	2020/08/16 J3-10節@ニッパツ YS横浜 5-5 G阪23

Y.S.C.C.横浜:

1964(昭和39)年に創設の横浜・中区スポーツ少年団は全日空の資本参加でチームが強化され、1984(昭和59)年には当時最高峰の日本リーグ1部へ到達、その後の横浜フリューゲルスとなる。この過程で、クラブスタッフやOBが「クラブ設立当初の理念『地域に根ざす』に立ち返る」べく1986(昭和61)年に新たに立ち上げたのが横浜スポーツクラブ。2002(平成14)年に現在の名称である横浜スポーツ・アンド・カルチャー・クラブ(Y.S.C.C.)となる。当時の選手はアマチュアゆえに平日には仕事があり、全国社会人大会で土曜、日曜の試合を勝ち抜いても月曜には大幅にメンバーを落とさざるを得なくなる「月曜のY.S.C.C.現象」でノンリーグ好きには知られた存在だった。2011(平成23)地域決勝で優勝しJFLへ。2014(平成26)年創設のJ3に加盟申請して承認を受ける。Jリーグ規定に「チーム名と呼称には地域名を含むこと」とあるため、上記のとおりクラブ名「Y.S.C.C.」に「横浜」を含んでいるものの、「横浜」を付加している。(吉田醸造)

●前々節、8/22(土)第11節・アウェイ福島戦では、前半で2-0とリードしながら、後半開始直前に発生した雷の影響で試合は中断し、そのまま中止(なお、この試合の今後の扱いは未定)となってしまったFC岐阜。勝利が目前から消えたような気分だが、あらためて気を引き締め直して迎えた8/30(日)第12節・ホーム秋田戦。今シーズンを約3分の1消化した状況で、無敗の首位を相手にする一戦は、今後のFC岐阜の優勝争いの行方を占う上でも、非常に重要な試合となるはずだった。しかし、日中36℃を超える酷暑の影響で大気が不安定になり、試合直前に雷雨が発生。このため、岐阜は2試合連続で試合が中止になってしまった。また、他チームでも8/29(土)に開催される予定だった富山vs八戸も雷雨により中止となっている。Jリーグは、今季の各リーグは全体の75%以上の試合が開催され、かつ全クラブが50%以上の試合を消化した場合に成立すると定めている。今季は新型コロナウイルスの影響で過密日程となっているが、中止となった試合の代替日や試合会場等、今後のリーグ運営に若干の不安を抱かせる状況が生じている。

2試合連続で試合が中止となって未消化のFC岐阜だが、幸いなことに順位は暫定10位のまま。ただし、希望的観測として未消化2試合の両方を勝利できたとしても、岐阜は勝ち点21で4位。J2昇格圏内である2位・熊本との勝ち点差は5と縮まらない。やはり、優勝・昇格争いをしているチームは勝ち続けるものであり、それらのチームに追いつくためには、自分たちも目の前の一戦ごとを焦らず確実に勝ち続けるしか方法はない。

さて、今節の対戦相手は、Y.S.C.C.横浜だ。2014年のJ3創設時から参入し、3年連続で最下位だったが、徐々にチーム力を向上させた。昨季はJリーグ最年少監督記録を塗り替えた、ドイツ出身のシュタルフ悠紀リヒャルト監督のもとで13位。今季はシュタルフ監督2年目で飛躍を目指しているが、なかなかチームの調子が上向かずには現在15位。4試合連続で引き分けと、なかなか勝利を掴めていないが、逆に言えば4試合連続で無敗という状況だ。しかも、直近の鳥取戦と讃岐戦では、先制されても試合終盤に追いつく粘り強さを見せており、勢いもあるチームなので油断はできない。しかし、YS横浜は8/30(日)にアウェイ讃岐戦を戦った上で、中2日のアウェイ連戦で岐阜と対戦するのに対し、岐阜はホーム秋田戦が中止となっており、かつ再びホーム戦だ。コンディショニング的には岐阜が優位な状況であり、これをしっかりと活かして、確実に勝利を掴み取らなければならない。

YS横浜での要注意選手は、全試合でスタメンを果たし、現在6得点の#11宮本拓弥を挙げる。また、直近2試合で途中出場して2試合連続ヘッドを決めた長身FW#15ピーダーセン世穂も要警戒選手だ。一方の岐阜は、前々節の福島戦では前半2-0と機能した4-1-4-1の新システムが、このYS横浜戦でも機能して、その攻撃力で得点を奪うシーンを、このホーム・長良川では是非とも見せて欲しい。

平日・水曜ナイター。普段でも観客の少ない試合、ましてや今の状況では、僕らFC岐阜サポーターがスタジアムに大勢集まって選手たちの背中を押すことは、なかなか難しい。だけど、声に出せない僕らの想いは必ずや選手に届いているはずだ。それを信じて、タオマフ・ゲーフラの掲出や(振るのは禁止)、試合中の拍手(手拍子は9/7まで禁止)をして、そして試合後には、ソーシャルディスタンスを保ちつつ、勝利の歓喜を分かち合おう。(ささたく)

投稿募集!! gidaidohri@gmail.com

雷の

ハカカロ-ク!!

